



時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.74

先々週から先週にかけての大きな収穫は何と云ってもクルド自治区の代表になる予定の Mr. Abdullah Mohtadi と今後の中東情勢について話せたこと。

さらに FRB、Pentagon、CIA のインサイダーである Mr. James Rickards と FRB が利上げを実行しなくてはならない、経済以外の重要な任務についてお話が聞けたことだ。1995 年から人民解放軍軍事科学研究所で中国はアメリカの政治・経済覇権を終わらせる目的でサイバー攻撃でアメリカ経済を 10 日間完全に止める研究を重ね今日まですでに何度も実験をしてきた。中心人物は W.K 将軍。他に金融を武力として使う研究の大家は IMF 二番手の Dr. M.Z 副専務理事である。最近ニューヨーク証券取引所が数時間停止したが原因は分かっていない。

戦後の金本位制時、基軸通貨国アメリカは 35 ドルと金 1 オンスとの交換を保証していた為金は国際決済手段にもなり得たことから日本、ドイツ等自由主義陣営は金のデリバリーの不便さや安全性から外貨準備中の金を FRB の金保管所に預けていた。日本の 700 トン以上の金は今なお FRB の金保管所に眠っていることになっている。ドイツは 2012 年の段階で 1,626 トンの金塊を FRB に保管していた。ドイツは将来のドル破綻リスクから保管金全部をドイツへ送り返すよう FRB に要求した。ところが FRB はドイツ銀行に直ぐには無理と通告、FRB との相談の結果 FRB は 8 年後の 2020 年 12 月まで延期を要求した。

現在 3 年を経過したが、ドイツ銀行は何故か保管分の移動は僅か 37%で結構であると FRB に伝えた。FRB の金保管所にある日本はもとより他国の金は「何者かに奪われた」のでほとんど残っていないからである。各国の金が無いとなると FRB の信用は地に落ち、ドルが崩壊し、当然ドイツは言うまでもなく自由主義諸国の信用喪失、中口をはじめドルに依存しない諸国を除く全世界経済が破綻する。だからドイツは FRB に出来ない要求はしないことにしたのである。

単純な話だが、バブル崩壊で 5,000 兆円ほど世界の金融資産が減価する。

資本主義市場はゼロサムだから市場で A が 100 万円損をすれば B が 100 万円儲かっているとはならない。ではバブル崩壊による 5,000 兆円の損は誰の儲けになったのだろうか。FRB の金保管所からすべての金をだまし取った者。

だから世界は誰かに盗られた 5,000 兆円を穴埋めするため 2008 年のリーマンショックから足掛け 7 年間働き続けなくてはならなかったのである。

誰かさんは、NY 市場を見ると金融資産が溜まり過ぎるほど溜まっているのでそろそろいただこうかなと言っている。

支配する者と支配される者、働いて富を創る者と富を奪う者。

そうした世界でアメリカと中国の通貨戦争が中盤戦を迎える。

詳しくは「小冊子」(Vol.74)をご参照下さい。

他人事ではないですよ！

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所 Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 11月05日(木) No. 584 枯葉の季節
- 11月04日(水) No. 583 ピークは今週
- 11月02日(月) No. 582 止まらぬ原油価格下落
- 10月30日(月) No. 581 薄氷を踏む思い

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前に株式会社増田俊男事務所 (Tel.03-3955-6686) までお知らせ下さい。